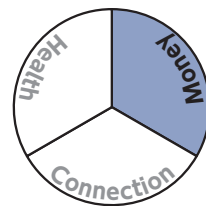


向こう1年間の市場見通し (8月6日時点)



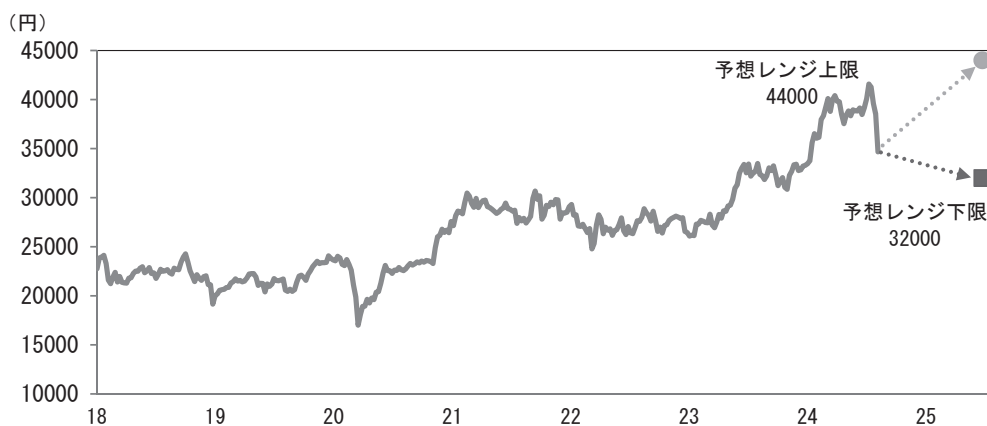
経済調査部 主席エコノミスト 藤代 宏一(ふじしろ こういち)

予想コメント

	コメント
株式	日本株は8月に暴落したものの、やや長い目でみれば企業業績の拡大、積極的な株主還元を背景に下値を切り上げると期待される。不安定化した金融市場は米国の利下げによって落ち着きを取り戻そう。もっとも、投資家心理の悪化によって短期的には更なる下落も考えられる。
ドル円	米国経済はインフレ率の低下が進むと同時に景気減速の兆候が増加。FRBの利下げ開始は既定路線になっている。そうした下で日米金利差縮小を見込むドル売り・円買いが活発になってきた。日銀の追加利上げとFRBの利下げが重なれば更なる円高も考えられる。
金利	日銀は7月に長期国債の買い入れ減額と同時に利上げを決定。政策金利は0.25%となった。名目賃金の上昇が続けば年内にもう一度利上げが検討されるだろう。政策金利は2025年末までに1%程度まで上昇しても不思議ではない。当面の長期金利は1%前後で推移するとみている。

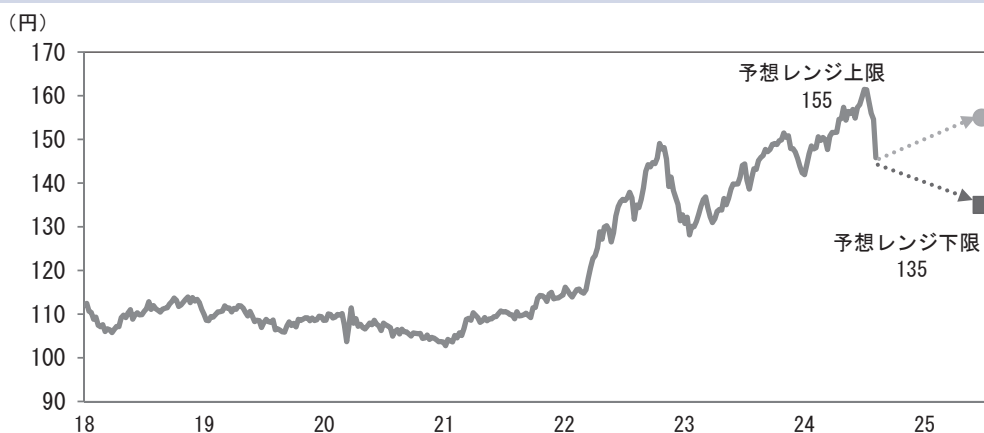
(注)記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

向こう1年間の日経平均株価



(出所)Refinitivより第一生命経済研究所作成

向こう1年間のドル円相場



(出所)Refinitivより第一生命経済研究所作成